

参加者募集中!
TIFA 国際子どもキャンプ 2011

小中学生を対象とした国際理解のためのキャンプを今年も実施します。外国人講師と3日間生活をともにし、学び、遊ぶことにより、子ども達は異なる文化を持つ人と触れ合うことの楽しさを体験します。

開催日: 8月21日(日)~23日(火) 2泊3日
 場所: 豊中市立青少年自然の家 わっぱる
 対象: 小学4年生~中学3年生 80名
 参加費: 一人8000円 (先着順)
 ★説明会を7月21日(木)に開催します。
 くわしくはTIFA事務局にお問合せください。

2011年度 日本語ボランティア実践研修

(文化庁「生活者のための日本語」委託事業)
 外国人に日本語を教えている方、または関心のある方を対象に、さまざまな視点からの研修を行っています。下記の他にも順次企画していきますので、最新情報は事務局にお問合せいただくか、TIFAのホームページをご覧ください。参加費は無料です。

課題: にほんご指導で大切なことー相手を理解しよう
 日時: 2011年9月16日(金) 13:30-15:30
 場所: とよなか国際交流センター (予定)
 講師: サマンティカ・ロクガマゲ(京都教育大学講師)

8月6日(土)・7日(日)は 豊中まつりへ

今年もTIFAは「市民ふれあい広場」にて、ネパールグッズなどを出店します。ぜひ豊島公園に遊びに来て下さい!

ミティーラートの♪ポップアップカード♪

Happy Girls Home から 新作が届きました!

ネパールの孤児院「子どもの家」の卒業生が、現地の伝統画法ミティーラートの新しい作品として、立体感のあるポップアップカード作りをスタートしました。すべて手描きの、ほのぼのとしたデザインです。今後、豊中まつりなどのイベントにて展示販売しますので、ご期待ください!



TIFA 会員募集中

- 正会員…入会金 2000円 年会費 6000円(月500円)
TIFAで実際に活動を行う会員です。
- 賛助会員…年会費 一口3000円 TIFAの活動を資金面で支援していただく会員です。ニュースレター等をお送りします。
- 寄付…金額は自由です。活動のために大切にに使わせていただきます。

入会方法など、くわしくはTIFA事務局にお問合せください。

振込先:

池田泉州銀行 豊中支店 普通預金 口座番号 3643801
 口座名義: 特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか

「アブサラカフェ」にネパールグッズを置いていただいています!

豊中で居心地のよいカフェNO.1と評判の「アブサラカフェ」にて、子どもの家の卒業生が描いたミティーラートと、ドダウリ村の女性たちが作った押花カードを販売していただいています。アジアリゾートのような雰囲気のある店内には、TIFAのネパールグッズのほか、カンボジアのバッグ類も並んでいます。ぜひ見に行ってくださいね。

所在地: 豊中市本町6-1-3 (豊中駅から徒歩5分・稲荷神社の斜め向い)
 営業時間: 11:00~21:00 水曜定休 TEL 06-6854-5188



押花カードはレジのすぐ右にあります。



地球の環境を守るため、フードマイレージの少ない地元の新鮮な食材にこだわっています。(松井店長)



発行: 特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか

TIFA (国際交流の会とよなか)は、豊中市にて1985年11月に発足しました。メンバーと地域に住む外国人が協力し、言葉や文化、国籍が異なる人たちがともに生きやすい社会の実現を目指して活動しています。

事務局 〒560-0022 大阪府豊中市北桜塚4-7-17-109
 Tel/Fax: 06-6840-1014 E-mail: tifa99@nifty.ne.jp
 お問合せ、お申込みは 月~金曜 09:30~17:00
 ホームページ: <http://homepage1.nifty.com/tifa/>

最新のイベント情報はホームページをご覧ください



特集

TIFAの活動に参加して - 外国人からのメッセージ

地域に住む外国の人たちとともに26年間活動してきたTIFA。さまざまな国から来た人たちにメッセージを寄せていただきました。

ネパールから **ナマステ・こんにちは!**
NAMASTE!

6月15日、ネパールから研修生2名が関西空港に着きました。一人は現地のNGOリーダーのバスデブさん(39歳)。丹波篠山や岡山などで農村開発や農産物流通などの研修を受けます。もう一人は、孤児院「子どもの家」(Happy Girls Home)の卒業生、スリジャナさん(17歳)。TIFA会員宅に泊り込んで手工芸(洋裁、刺繍、パッチワーク等)の修行を積みます。来日した翌日の6月16日、TIFA事務所にてお2人からお話を聞きました。

スリジャナ・サヌワールさん

7歳よりTIFA子どもの家(女の子の孤児院)で暮らし、昨年10年生を卒業しました。絵や手仕事が好きで、将来は手工芸で自立したいと望んでいます。

小さい頃に両親をなくし、あのまま自分の村にいたら学校に行くこともできませんでした。子どもの家では、勉強だけでなくアートのトレーニングも受けることができ、とてもよかったです。日本での研修をがんばって受けて、自分の将来のことについてはこれから考えていきたいです。



バスデブ・アディカリさん

ネパールの僻地、シンズリ郡ダウリ村にて、村民の生活向上のために日々働いています。18年間、TIFAネパールプロジェクトとともに歩んできたNGOリーダーです。

初めて日本に来て、まず、日本がこんなに発展した国だったのか!と驚きました。こんな便利な所から、日本に比べたら何もないようなネパールの田舎にTIFAの人たちが足を運んでくれたとは…
 ほんとうならネパール政府がしなければならぬ孤児院や医療施設への援助を日本人がしてくれていることに感謝します。今回の研修でさまざまな新しい知識や技術を得て、ネパールでの活動に生かしていきたいと思っています。

TIFAの活動に参加して — 外国人からのメッセージ

TIFAは1985年の設立以来、地域に根ざした身近な国際交流活動をすすめてきました。

地域に住む留学生や在住外国人との家族的な交流はTIFAの活動の原点であり、今もそのスタイルは引き継がれています。今回は、さまざまな国から来た人たちから、TIFAの活動に参加しての感想や将来の夢などをお聞きしました。(一部英語から和訳しています)

国際理解プログラムより

TIFAのスタッフが在住外国人とともに学校や公民館などに出向き、国際理解のための様々なプログラムを提供しています。これからの国際社会を担う次世代を育てる活動です。

メヘディさん(アルジェリア)

2010年から日本に住んでいる。この間、つらい経験もしたが、嬉しいこともあった。その中でも、学校で子どもたちに自分の文化を紹介したのは、最高に幸せな体験だった。



学校へ行く前、私は日本の教育や子どもについて何も知らなかった。きっと彼らは恥ずかしがって何も反応しないだろうと思い、気が重かった。しかし、一歩教室に入ると、すぐにそれが間違いだったことに気付いた。子どもたちは、アルジェリアの文化やアラビア語について、とても興味をもってくれた。私を受け入れてくれていると感じた。驚いたのは、6歳か7歳の子がアルジェリアの消費税が何%か聞いてきたこと。また、小さな女の子は、私に“秘密の”お手紙と絵をプレゼントしてくれた。ほんとうに忘れられない思い出だ。こんな幸せな時間を作ってくれた皆さん、ありがとう！

イグナットさん(スウェーデン)

8ヶ月前に来日しました。初めての講師体験は思った以上に楽しいものでした。クラスに入る前は、日本語がうまく話せない私の話を子どもたちが聞いてくれるだろうか…と不安でした。しかし、TIFAのサポートのおかげで、すべて問題なく、うまく行きました。

子どもたちはとても可愛く、グッバイを言うときは本当につらかったです。彼らが描いてくれたスウェーデンの国旗は今も私の寮の目立つ所に飾っています。

これからスウェーデンの大学を卒業し、日本で博士号を取り、将来は、スポーツしながら家族や仲間とともに、毎日健康で楽しく暮らしていきたいです。



ホストファミリープログラムより

マリーンさん(フランス)

こんにちは、マリーンです。はじめまして！

今年2月にフランスから来ました。家からこんな遠くに来たのは初めてなので、来る前は「異文化に馴染めるだろうか」と心配でした。でも、多くの人と知り合い、今はすべてがうまく行っています。特に、ホストファミリーがとても親切で、一緒に旅行に行くなど、楽しく過ごしています。また、困ったときには親身に助けてくれます。このような出会いを作ってくれたTIFAのプログラムに感謝しています！

今回は半年の短期留学なので、8月には帰国します。その後、フランスで大学を出て博士号をとり、将来は科学者として、いま大阪でしているような素晴らしい経験を世界中でしたいと思っています。



TIFAのメンバーと来日間もない留学生が「日本での家族」として交流するプログラムです。異なる文化への好奇心とホスピタリティーがあれば、お互いの理解も深まり心も通じ合えます。

ハルソノさん(インドネシア)

昨年9月末に来日し、今後大学院で最低3年は勉強する予定です。

大阪大学には留学生のためのいいプログラムが沢山ありますが、ホストファミリーもその一つで、本当に多くの有意義な経験をさせてもらっています。幸運にも私は素晴らしいホストペアレントにめぐりあいました。外国人のために快く時間をさいてくださるボランティア精神に感動しています。

卒業後、どこに住むかはまだ決めていませんが、まだしばらくは母国を離れて経験を積むつもりです。もちろん、もし日本で研究や就職をするチャンスがあれば大歓迎です！



ハトッポンさん(タイ)

昨年9月に来日しました。5年間大学院で勉強する予定です。

ホストファミリープログラムに参加した理由は、日本語力を上げたかったことと、日本の文化や伝統を学びたかったからです。期待どおり、日本文化をより深く理解することができました。

ホストファミリー宅では、茶道や和室の飾り方などを教えてもらいましたが、伝統的で美しいだけでなく、高度な技術もふんだんに使われていることに感銘を受けています。私にとっての一番エキサイティングな体験は、何とんでも、急斜面でタケノコと格闘したことでした！

私は将来、トヨタやソニーなどの日本企業に入って、タイと日本をつなぐような仕事をしたい。タイ人と日本人の相互理解にも貢献したいと願っています。



いつか自分も困っている人を助けたい

鉄鋼さん(中国・内モンゴル)

テッコウです。中国の内モンゴルから来ました。来日2年目です。

日本に着いたばかりの時は、言葉があまりできなくて、さびしく、強い孤独感があり、早く国に帰ろうとばかり思っていた。でも時間が経つにつれて、だんだんその環境に馴染んできて帰国したいという気持ちは薄れ、ついにこの国に好感が持てるようになってきた。その理由の一つは、TIFAのいろいろなプログラムに参加することができ、多くの支援とお世話も頂いたことである。両親のように至れり尽くせり面倒を見てくれている。さらに、ボランティアで日本語も教えてくれて、おかげで私たちは楽しく充実した留学生生活を過ごせるようになってきていると思う。

この2年間で一番心に残っていることは、やはり、昨年8月、日本人の小中学生と一緒にキャンプに行ったことだ。3日間一緒にふれあうことができ、自分の国の文化を紹介しながら、他の国の文化も体験した。学校や教科書ではこのような授業を受けられないので、すごく楽しかった。これはキャンプというより、異文化コミュニケーションとも言えるだろう。

今の私は、日本に来て本当によかったと心から思っている。これからはいろいろ大変だと思うけれど、自分の人生は自分でつくる。どんなにつらくても乗り越えて頑張っていきたいと思う。いつか自分も日本人のように、困っている人々を助けたいと心に刻んでいる。



日本語クラスより



スヒョンさん(韓国)

(指導補助者)
教える事のむずかしさを日々感じます。もっと勉強して日本と韓国のかけはしになりたいです。

ホアンさん(ベトナム)

1年6カ月前に来ました。いろいろなTIFAの活動に参加しています。日本語クラスで週3回勉強して、とても楽しいです。日本語をもっと話せるようになって、みなさんと交流していきたいです。

ソナムさん(ブータン)

クラスは面白くてとても勉強になります。先生もとても親切です。もっと日本人と話したいし、パートの仕事も見つけたい。そのためにがんばります。

イラさん(インドネシア)

日本に来て12年になります。日本語の勉強をしてきて、難しい漢字が少しずつわかってきました。サマンティカ先生の教え方もわかりやすく、いろいろな相談もすることができて、勉強は楽しいです。ボランティアの人も娘のめんどうをよく見てくれて、勉強をするとき助かります。

外国人のための日本語クラス

日本語指導者養成講座

毎週水曜日 10:00～
グローバルとよなかにて
わかりやすい日本語の教え方を様々な国の人が学んでいます。生徒も講師も外国人。子ども連れのみママも頑張ってお勉強しています。

ナイト漢字クラス

毎週火曜日 19:30～
とよなか国際交流センターにて
漢字を含む日本語を学びたい人が対象です。社会人の方も多く、みなさん熱心に学んでいます。

にほんご交流サロン

毎週金曜日 19:30～
とよなか国際交流センターにて
参加者それぞれのニーズに合わせて学習のサポートをしています。ティータイムの交流も楽しみです。